

2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.001

釣行月日: 2016年06月01日(水) 05:15~17:15

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 古座川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水

釣果: 35尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15, ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, Vゼロ: 5号3本錨

内容:

自分として今年遅めの解禁。

以前観光のついでに川見をして良さそうだったので古座川に決定。型もそこそこ良さそうとは感じていた。ポイントは幾つか候補があったが、まずは入川しやすい天柱岩周辺へ。早朝5時頃には道中ポイントには既に人が入っている。まずは瀬をやりかかったけど先行者が居たので瀬肩の上のトロは朝一は無理だろうし、瀬落ちの下の方へ行ってみて大石の点在する所から始めてみることにした。1尾めはそんなに時間がかからず掛かる。12cm程の鮎。粘っても掛かりそうもないので、瀬の方に戻って先行者が瀬肩へ移動していたので瀬落ちの所からやってみる。掛かったがこの鮎も小さめ。少しずつ瀬のほうへ向かうと掛かる。きつめの早瀬で良型が掛かってくる。ナイロン0.15号では無理ができない。18cm前後の鮎が掛かって時には瀬落ちまで下って溜めて獲り込むほど引きの強さもあった。しかし、ひととおり掛けると後が続かない。20尾強掛かった所で100m下流へ移動して瀬になる手前のトロで大石の点在するポイントへ入る。時間になると鮎が出てきてそのうち掛かるだろうと、様子をみながらポイントを泳がせてみる。最初は掛からなかったけど鮎の見える場所にしつこく止めて待つ。ようやく掛かり獲りこむと良く肥えた19cm程の鮎。所々で鮎が見え出しそこに鮎を持っていきポイントから外れたら引き戻すというやり方で時間はかかるが見釣りで楽しむ。

幾つかのトラブルで鮎を失くしてしまったがキリの良い35尾になった所で本日は納竿。久しぶりとあって疲れた。



No.002

釣行月日: 2016年06月05日(日) 06:30~17:00

天気: 雨後曇, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 四村川・熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 23尾, サイズ: 7cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

子供の運動会が土曜日にあったので日曜日日帰りの釣行。

R168は吉野で通行止め・迂回ありとのことでとりあえずこのルートで行く。それにしても道が狭くヘアピンカーブしかも坂道、早朝なので車の数も殆どなく難なく通行できた。大塔付近は半分完成していて快適に通行できるようになっている。しかし、集落を通る狭い道は相変わらず通らなければならない。対向車が来なくて一安心。そのあとはスイスイで行けた。谷口オトリ店で状況を聞くも厳しいらしい。支流はかなりの減水とのこと。さっそく、いつもの四村川へ行くも言われた通り減水。ただ川相が何だか違う、どうも護岸工事で川原周辺まで触っている。川の中の石の並びが変わっていて幅が出巻くなっている。これでは竿を出す気にもなれず上流へ歩く。チャラ瀬があっても掛からず。びり1尾、情けないというか寂しくなる。もうこの周辺ではやる気もなくなり請川へ移動。

釣り人が居なくて寂しい気もするが何とかオトリ継ぎをしないことには後が続かない。

橋周辺の早瀬でやっとオトリが変わる。解禁から抜かれているためか厳しい。

歩いて本流まで来てしまった。幸いにも川底には大きめの石があり瀬となっている。

そこで入れ掛かりはないまでも適度に掛かってくれた。同じところでは掛からずポイントを変えながらやっていく。

周辺を歩き回って20尾を超えるくらい。初期とあって攻めるポイントに限られる。

2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]



No.003

釣行月日: 2016年06月10日(金) 07:40~18:15

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 日置川(和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 40尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

天気予報で晴れマークが付いていたので我慢できず日置川へ。

高速も日置川で降りれ安居辺りに西おとり店があり釣り場まですぐに行けるようになった。

おとり店でおまけに1尾追加してくれたのだが・・・あまり深く考えないことにしよう。安居橋周辺に入る。早速準備をしてオトリを瀬肩から放つ。送り出しに失敗したのか、もう一度再スタートしたがオトリが流れにおされて泳がない。もう駄目? オトリ缶まで戻り曳舟に新オトリを詰め込む。

瀬肩から再スタート, 少し上のトコで掛かる。型も申し分ない。

3尾程確保できたので下の瀬へ移動しながら数を増やしていく。途中で団子状態で損失で掛かるペースが遅いので上流へ戻りトコ場を中心に攻めてみる。入れ掛かりではないが今の時期にしては意外な所で掛かった。当たりと引きを十分に堪能できた。

40尾になるまで結構遅くなってしまったが、深トコでも掛かり今後の釣行にも大いに期待できることが分かった。

梅雨明けが楽しみ。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.004

釣行月日: 2016年06月19日(日) 05:00~17:40

天気: 曇後雨後曇, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 30尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

解禁日。

夜中車を走らせるのだが最近は何処へ行くにも普通に鹿が居るのでスピードは出せない。特にカーブに要注意。

前日に川を見て下流域でも良さそうな感じだったので、栃本に入ることにした。地元のプロもポイントにおられる。

自分は下流へ入らせて頂くことにした。予定通りのポイント。

ちょっとだけプロの釣りをみてからにしようと思った。しかし入れ掛かりになるはずが・・・

自分も竿を出すことにした。まずはよれで泳がせる。コツンと感じるけど掛からない。群れ鮎か?

針を四本錨に変えようやく掛かる。群れ鮎のような小さめで色も黄色ではない。

天然に変えて数尾掛かるも入れ掛かりはない。

掛かったショックでオトリが鼻環から外れ掛かり鮎だけしかついていない。ちょっと足踏み状態。

しかし、ポツリポツリでしか掛からずペースが遅い。周りもあり掛かっている。

雨も降りだし昼過ぎまで降り寒くなってくる。

気分的にも盛り上がりには欠け辛抱の釣りで何とか30尾とすることができた。



No.005

釣行月日: 2016年06月24日(金) 07:10~12:50

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 15℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 30cm程高水, 笹濁り

釣果: 7尾, サイズ: 13cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

本当は遠征予定だったのに何処も雨の影響がありそうで躊躇。近場の上桂川へ変更。山稜橋から始める。もう少し低ければと思いつつ流れの比較的緩い所から探っていくことにした。一発目はすぐに掛かる。その後は歩き回って2尾追加。

水温も低く活性が無いのか? 場所を移動, 亀の甲橋下流に満さんらしき釣り姿が見えた。周辺も釣り人が集中。中江橋へ行くもかからず, 殿橋上流で3尾追加。昼頃からポツポツ雨粒が落ちてきた。

栃本橋で1尾追加するも雨も強くなってきたこともあり納竿することにした。

解禁から雨続きでどうも気分が冴えない。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.006

釣行月日: 2016年06月26日(日) 09:00~13:00

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 番匠川 (大分県)

水況: 濁無し

釣果: 12尾, サイズ: 18cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175, ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

元々金曜から日田や中津で釣りの予定だったけど雨で川は荒れていた。たまたま番匠川で解禁前に釣り大会を開催するという情報が出ていたので応募してしまった。宇佐ICから約1時間チョイで行けそう。実際佐伯ICで降りてすぐの所なので便利は良さそう。道の駅で休憩して駐車場で受付時間まで待機。受付済ませ、オトリを2尾もらい駐車場で出会った方が釣り場まで乗せていってくれると声を掛けて頂き感謝。水車の上流の鍾乳洞付近の釣り場でやることに。

初めてなので掛かるか不安もあったが解禁していないので居れば掛かるであろうと安易な考え。

まずは水深のある緩やかな瀬でスタート。オトリを出すなりグルグルと感触が、もう掛かっているではないか。

慎重に捕りこんでみると23cmの鮎。想定してたのとはかけ離れている。

逆針が届かない。仕方なしに届く範囲で側面に皮打ちしてみる。

それでも次も掛かる。ここまでは順調だったが次はどんぶり。

気を取り直して水中糸を0.2号にワンランク上げて再スタート。

その後も掛かってはどんぶりや根掛かりで数はなかなか増えていかない。

0.2号もこれが最後となってしまった。幸い終了時間までもってくれた。

合計12尾ともう少し欲しかったけど次回に期待。大会はトップはオトリ込50尾だった。掛かるところは掛かるんだね。

その重量は2.8kg? 自分は14尾で1.1kg 何だか不思議な感じ。

梅雨明けではどんな鮎が掛かるんだろうと想像すると恐ろしい。

もう一回はチャレンジしたいし、大野川へも行ってみたい。色んな話をしてくださったIさんに感謝。

今年も田染荘の夕景と釣りと兼ねての遠征だったけど夕景は思うような空にはならず残念。

燃費(往路: 20.4km/1, 復路: 21.6km/1), 走行距離: 1618km



No.007

釣行月日: 2016年07月02日(土) 06:50~17:30

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 上桂川 (京都府)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 25尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

オトリ操作が荒くならないようオトリ1尾のみ買う。殿橋上流に入り粘らずにポイントを決めるも13cm程の鮎1尾のみ。栃本へ移動。橋の上流から始めるも掛からない。下へ移動し解禁に入ったポイントまで下る。なかなか掛からず浅場の早瀬でようやく掛かる。これでまともなサイズに代わり循環が良くなって掛かり鮎も増えていく。少しずつ下りながら攻めて昼過ぎまでやってエビで一尾損失の19尾。人も増えてきたので日吉橋へ移動。しかしあまり掛からず。最後、根掛かりで損失するも、周辺で一尾ゲット。それをオトリにしてたら根掛かりかと思いゆっくり引っ張ると石が掛かったのかゆっくり動く。しかし何だか様子が違う、鮎か?でも長い影が見えてきた。ウナギか?

いや50cm程あるナマズのようなだ。暴れないようにゆっくり引き寄せる。

そうこうしているうちに口から放したようで鮎が空中を飛んできた。よく見ると鮎が掛かっている。タモに入って確認すると先ほど根掛かりで損失したものであったが、ナマズに食いつかれたものだったと判明。

しかし鮎は死んで色が変わっていた。この場所は諦め移動するも1尾追加で終了。

2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]



No.008

釣行月日: 2016年07月09日(土) 08:30~17:00

天気: 雨後曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 高水, 濁無し

釣果: 8尾, サイズ: 16cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

神吉地区の大会。エラ周辺で開催。京北橋上流から始めるも掛からず。周辺を探しても掛からず。下流へ移動して瀬で泳がせる。ようやく掛かったかと思ったけど、小さなウグイ。オトリ2尾とも弱ってどうにもならない。周山大橋で弱ったオトリに錘を付けて泳がす。なんと諦めていたところに待望の当たり。天然に変わり一安心。次も少しポイントをずらすと目印が上へ吸い込む当たり。これで2尾。しかしここまでで終了。全体的にあまり掛かっていなかった。今日は厳しそう。午後からは場所を変えようかとも考えたが、皆この周辺でやるようなので明日違う場所に行けばよいと考え直す。深みを攻めるも6尾追加しただけで貧果に終わった。掛かるがしない。明日何処へ行こう？



No.009

釣行月日: 2016年07月10日(日) 07:30~18:00

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 31尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

昨日の不調から釣り場の選択に悩む。今日もオトリ1尾のみを買う。オトリが駄目になってもすぐには買えるよう近くの場所からやることにする。山国神社へ行ってみよう。誰も居ない。早速支度をし、緩い瀬から開始。なかなか掛からず苦勞。大石の周辺で何とか天然に変えることができた。しかし、周辺では掛からず。下流の浅い早瀬に行ってみる。ここで掛かる。段々数も増えてきた。途中、鼻カンからオトリガふり飛ばされ掛かり鮎のみ獲りこみ。他に連荘で受け損ないトラブル発生で伸び悩む。人も増えてきたので気分転換に宇津方面へ場所移動。弓槻では釣り人多い、栃本に行くと水遊びする人らで釣り人が見えない。瀬は独り占め。しかし、なかなか掛からず場所失敗したか？色んな泳がせでポイントを攻めるも掛かるところが見えてこない。石の上をするりと登らせるとまぐれか掛かった。良型。次は掛からず。場所をヘチ狙いに変え少しずつ掛かりだした。何処が良く掛かるのか判らないまま終了。

2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]



No.010

釣行月日: 2016年07月16日(土) 07:30~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 土居川 (高知県)

水況: 濁無し

釣果: 21尾, サイズ: 12cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

遠征1日め, 四国釣行。北陸を予定していたが数日前の雨で増水してそうで天気も雨マークが付いているので急遽南方へ変更。仁淀川支流・土居川から始めることにしてみる。仁淀ブルーと呼ばれるらしい。初めてなので押岡つりぐ店でオトリ・券を購入の際車の止めやすい所を教えてください。公衆トイレの所にキャンプ場があるのでそこならOKとのこと。透明度が良いので気持ちは最高なのだがツ抜けがやっとのこと。

一発目掛かるも団子状態で糸切れ, 出鼻をくじかれる。

オトリ缶まで戻り最後のオトリを曳舟に移し替える。オトリを買いに戻るのはいやだし何とか野鮎を確保せねば。

心配は無用で16cm級が掛かり一安心。次は巨大鮎23cm級が掛かる。

ポイントは同じところでは数は出ないので場所を変えながら釣り歩く。

藤吉さんがあとから合流。オトリは確保できていたので分けてあげた。昼ぐらいでツ抜け, 夕方まで粘り21尾。なかり身切れや蹴られで損失。うまくいけば30尾くらいは掛かる感じ。ポイントは馬瀬川のような感じ?かな。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.011

釣行月日: 2016年07月17日(日) 08:30~18:30

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 新莊川 (高知県)

水況: 濁無し

釣果: 47尾, サイズ: 10cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

遠征2日め, 藤吉さん, トシチャンと新莊川で合流することに。

昨日はトシチャンはこの新莊川で20尾くらいとのこと。始めは瀬肩から始め即掛かる。4連荘ほど入れ掛かる。

ただ掛かりが悪いためオトリの泳ぎが悪く掛かりが遠のく。

場所を移動し深場でやる。居れば直ぐに掛かる。同じ場所では掛からず。途中、掛かったは良いが石と石の間に水中糸が入ったのか抜けなくて糸はガリガリ音がし鮎は引っ張るしどうにもならない最後はプツン。循環がうまくいかず数がいまいち増えない。昼過ぎには20尾程。トシチャンがやってきて掛からなくなったので場所を移動するとのこと。

話してよそ見をしてたら目印が吹っ飛ぶ。もう少しこの場所でやったら後から行くと告げる。

25尾になったし鮎がデカすぎるので場所移動の決心をする。

下流へ移動したが餌釣りの人が多く友釣りをする人は自分らのみ。入る場所に苦労。また小さいの大きいのと極端。

38尾で40尾までもう少しのところがなかなか。最後上流の狭い瀬で良型が入れ掛かり, 当たりも強烈。

途中, オトリが鼻カンから振り飛ばされて掛かり鮎のみの時もあった。最後は楽しめた。

燃費(往復: 20.6km/l), 走行距離: 1019km (途中給油無)



No.012

釣行月日: 2016年07月23日(土) 08:15~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 山国川 (大分県)

水況: 濁無し

釣果: 21尾, サイズ: 16cm~25cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.2, ナイロン0.3

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

遠征1日目。中津の山国川。オトリ店で入川しやすい場所を教えてもらう。ダム放水合流点付近に入る。まずは瀬の緩やかな場所から始めるも数回泳がすとオトリの元気がなくなって泳ぎが悪くなりこれでは無理ともう一つのオトリに頑張ってもらう。もう後がないので瀬落ちの大石の裏で掛かるのを待つことにした。ようやく掛かる。23cmの良型。次も掛かり17cm小さく感じる。その後歩きながらやるも掛からず。上流の瀬肩で即掛かるが一気に下流へ走られぎりぎりまで溜めようと頑張ったけど石に擦れダブル放流。1尾のみとなった。昼まで1尾と情けない釣果。諦め場所移動。

数百メートル下流に行くと良さそうな瀬が見えた。入る場所が判らず竹藪の中をかき分け川に出れた。

期待したほど掛かりそうもなく下流のチャラ瀬で引いてみる。ようやくオトリが変わった。その後周辺で数尾掛かりこれで思い切った釣りができるようになった。川を渡り反対側から上流の瀬を攻め入れ掛かりとなる。

オトリに何らかのアクションを掛けると良く掛かった。大きな鮎で針ハリスを何度も飛ばされた。

ナイロン0.3号で十分いけたので何とか数が稼げた。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.013

釣行月日: 2016年07月24日(日) 08:00~17:15

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 大野川 (大分県)

水況: 濁無し

釣果: 16尾, サイズ: 15cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.3

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

一度行ってみたかった大野川。イヴ釣具戸次店で券とオトリを購入し場所が判らないのでリバーパーク犬飼に行ってみる。入川しやすい場所だが掛かるのか? まずは左岸側の緩やかな場所からやる。

一応は食み痕はあるので掛かるだろうと始める。

昨日よりは比較的はやめにオトリを交換できた。周辺で数尾簡単に掛かる。

その後段々と掛かるペースが遅くなってきた。しかし歩き回ってもイマイチ掛からず。

トロではまったくと言っていいほど掛からず。石はぬるぬるで滑り歩きにくかった。



No.014

釣行月日: 2016年07月25日(月) 07:30~17:00

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 番匠川 (大分県)

水況: 濁無し

釣果: 32尾, サイズ: 15cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.3

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

遠征3日目, 番匠川。昨日生かせていた鮎全滅。結局オトリと券をイヴで買い高速へ戻り佐伯まで向かう。

オトリを曳舟に移す時に2尾中1尾選択に失敗したか・・・フラフラ状態。

残りの一尾で勝負。駄目だったら大分市まで戻るわけ行かないし佐伯では店が開く10時まで待たないといけない?

場所を慎重に選びオトリを泳がせる。右岸のよれの深場に行くと程なくして待望の当たり。

慎重に獲り込みやれやれ。オトリが変われば次も早い。しかし巨大坊主ハゼが掛かり雰囲気をごちゃごちゃ。

今日は何回掛かったら? 数百メートル往復して拾い釣りの感覚で釣り歩いた。

掛かって獲り込むのに引きが強くて身切れか? かなりばれた。

釣り人見当たらず一人貸し切りでできたためか30尾超え出来た。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.015

釣行月日: 2016年07月28日(木) 07:30~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 高津川 (島根県)

水況: 濁無し

釣果: 11尾, サイズ: 16cm~26cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.3

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

九州遠征後宮崎, 山口観光後島根の高津川で終了。記録をつけ始めてから今日が1000日めの釣行となる。30尾は掛かるだろうと期待はしていたが道の駅シルクウェイのオトリ店の人に状況を確認したら25cmが掛かるのでそれなりの仕掛け用意してきた?と言われ・・・九州で25cmは対応できているものの獲り込みしんどいなあ。数は出ないような感じ。場所は道の駅かきのきむらが良いとのことで行ってみる。最初は16cmが掛かり, 何だこれならOKと思ってやるも次がデカかった。23cmが続けて掛かる。しかしその後上流数百メートル釣り歩くも掛からず。食み痕も見られず首を傾げる。11時頃にこの場所を諦め下流へ移動。左鐙辺りまで下って川を見ると食み痕は若干確認できる。鏡での場所では鮎が確認できない。とりあえず竿を出してみる。瀬落ちの石横で掛かる。次は石裏の白泡でもっとデカイ鮎が掛かる26cmだった。釣り返しが効かずツ抜けがやっと。ああ数釣りをしたい。今回の観光を兼ねた遠征釣行の総距離: 2829.6km, 平均燃費: 20.5km/l



No.016

釣行月日: 2016年08月07日(日) 07:00~17:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木 (滋賀県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 80尾, サイズ: 7cm~15cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

さかいオトリ店で券とオトリを購入。情報によるとようやく掛かるようになってきたよう。ただ例年に比べて人が少ない様。船橋下流まで行ってそこからスタート。10分ほど右岸側の瀬をやるも掛からず。オトリが弱らないように早めに場所を見切る。橋の上流へ移動。チャラ場があったのでオトリを変えられるかも?と水温が上昇してきたのか鮎も動きが悪い。竿を寝せてゆっくり引く。掛かるもオトリに使えない。2尾めでようやくオトリを変えられた。数尾オトリが確保できたので釣りが続行できそう。ポイントを変えて掛けていく。水管橋上流まで行ってまた釣り下がる。曳舟は完全に水に浸けて錘に石を載せることを徹した。水温がかなり上がってきているのでオトリがグロッキーにならないように注意。夕方までやって80尾になたところで納竿とした。気温がかなり上がって自分もグロッキーになるところだった。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.017

釣行月日: 2016年08月11日(木) 06:40~17:45

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 66尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

6月に熊野の年券を買ったきりでそれ以降見送っていた。その頃は本流は小石ばかりで絶望視されていた。と云う訳で今回が2回目。ここ最近本流で掛かるようになってきたという情報をキャッチ。今後の最盛期に向けて自分の目で確かめたく釣行することとした。

いつもの谷口オトリ店へ連絡なしで行く。今年はお客さん少ないとぼやいていた。今日も自分で二人目?と。

いつものポイントへ行ってみることにしよう。

着替えをしているときタイトの股間がバリッと破れる。ありゃ、なってことだ。まあ、今日は釣り人もギャラリーも居ないしほぼ100%男性やストッキング穿いているしかんべんしてもらおうと。家に予備あったかな?明後日からの遠征がチョッピリ心配。先行者ははるか下流へ釣り人が認識できないほどの距離。

いつものこの時期なら数人は居るのだが…川相は減水ながらここ数年来久しぶり川底に大石が増え良くなっている。

これはもしかして掛かるかも?と内心ウキウキ。まずは日焼け止めを塗りながら何処に立ちオトリを放つか考える。

まずは鏡よりも所どころ石が水面から出てシャワシャワとなっているのが点在するところを下流側から上飛ばしできる所から始める。いつもならオトリが竿一杯になるまで登りきるまで掛かれればいつもの熊野と期待できるのだが、数回繰り返して掛かるのに15分程かかった。これはちょっと厳しいかも?次も少し時間掛かって追加。3尾めはちょっとちいさめ。4尾めのときに鼻カンからオトリが外れ掛かり鮎のみが返ってくる。サラに代わっただけの話。

それがその後数尾めが掛かった時も起こった。これはちょっとおかしいぞと感じ、鼻カン周りを新しい物に交換。

結果的にその後このようなことは無かった。入れ掛かりは殆どなく同じところでは掛からずメートル単位でずらす必要があり泳がせも流れと並行に泳ぐようなやり方は殆ど掛からずオトリにも何らかのアクションを加えないとなかなか掛からない。オトリの泳ぎを止めて走らせ、走らせて止めるの繰返し、他に振り子みたいにオトリを左右に振らせるなどいろんな泳がせをやったほうが効果的であった。ただ普通に泳がせてはなかなか掛からない。

ヘチやトロではいまいち反応が無いので時期的にはもう少し時期が後なのか?

それが掛かるようになれば本番だと思うのだが…、それまでには適度に雨が降ってほしい。

支流や本流の一部では青ノロが発生している。

本流は場所と釣り方にも釣果の差は出るかもしれないが間違いなくこれから期待が持てそう。

ボウズハゼに仕掛けを2セット駄目にされた。多めの鼻カン周りの仕掛けも準備しておいた方が安心。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.018

釣行月日: 2016年08月13日(土) 07:15~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 日置川 (和歌山県)

水況: 濁り無し

釣果: 74尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE

仕掛(糸): ナイロン0.175, ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

6月の釣行以来の2回目となる。釣果も安定しているようだし前回よりも広範囲に掛かるようになってることだと思い行ってみる。藤吉さんらは日置川は初めてとのことで状況からすれば有望河川と考えここに集合となった。また、12日~13日未明にかけてペルセウス流星群が見れるとのことで夜中に到着できるよう出発。安居に到着し夜空を眺めると天の川が肉眼で見れるとは感激ものである。カメラを設置しインターバル撮影を始める。

4時過ぎには夜が明るくなってきて見える星の数が減ってきた。

撮影終了で確認中メモリーカードを初期化してくださいと・・・ガックシ！今まで撮ったのがパー？

結果的に復元ソフトで復活できたのは非常に助かった。ちょっぴり仮眠して夜が明けたところで西オトリ店に行くとか看板に扱いを止めたという旨のことが書かれていた。別のオトリ店まで移動することになった。いつもの安居へ入る。始めようとした所に瀬肩まで車で横付けしてきたひとがあった。自分はそのよつと離れたトロに近い所から始めるも掛からず。まあ、時間的に厳しいか？数歩下がった波立ちの際へ送り込むなり掛かる。それから数尾入れ掛かる。

藤吉さんは少し後で来られ釣り開始。

掛かるところは瀬ではあまり掛からず釣り人が立つであろう周辺が程良い石が並んでおり良く掛かった。

藤吉さんも同じような所で動かず入れ掛かりを堪能。夕方、今まで掛からなかった瀬肩で入れ掛かる。

今年は浅場で掛かるので今後も期待できそう。



No.019

釣行月日: 2016年08月14日(日) 09:00~17:50

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 27℃

河川: 日置川 (和歌山県)

水況: 濁り無し

釣果: 60尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

本日も藤吉さんらと日置川釣行。折角だから、有名ポイントワルゴケ・高瀬へ案内してみることにした。

ただ、連日人が多いので荒れている可能性がありちょっと心配。

9時頃だが釣り人よりも川遊びの人が多く、特にワルゴケ周辺は釣りが出来る感じはしないので高瀬でやることに。

川相は左岸側は水の流れがばくなって右岸側のみと大きく変わったもの。しかし、これからの時期数釣りできそうなポイントが複数あるのでやり易いと感じた。殆どの釣り人が右岸側の流れをやっているので自分らは左岸側の水のある水深30cm以下のチャラ場で開始。最初の1時間は15尾を超える掛かり方。

少し下流も掛かると思ったが掛からず時間のロス。真ん中の浅場へ移動後掛かりも良くなりこの日も高釣果。

藤吉さんは午前中0だったが昼から浅場で30尾以上の入れ掛かりとのこと。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.020

釣行月日: 2016年08月15日(月) 08:00~18:20

天気: 晴後雨, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水, 濁無し

釣果: 49尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 競技SP T早瀬抜100SE

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今日は一人で熊野釣行。釣り人少ないというか自分がポイントへ入ったときは誰も居なかった。今回は一段下がったポイントから開始。全面良さそうにみえるが掛かるところを探りながらやってみる。ちょっとでも変化のありそうな所を見つけては泳がせる。掛かるには掛かるが連続で掛かるような所がなく時間が過ぎる。

昼頃までで20尾程。そうしているうちに北の山が白くなっているのが見える。

これは雷雨かもしれないと思い竿を畳んで車で待機しようと移動中に雨粒が……。走って車に逃げ込む。

まもなくして激しい雨が降ってきた。1時間以上降りオトリ缶と曳舟が気になる。この状態が続くとやばいかも？

再開したのは3時過ぎ。5cm程水位が上がっている。鮎も走り回っている。午前中よりも掛かりは良かった気がする。

50尾までと頑張ってみたが1尾足りず。



No.021

釣行月日: 2016年08月18日(木) 07:45~17:15

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: *****

水況: 濁り無し

釣果: 81尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

遠征1日目, 知人2人と釣行。あまり情報が無くどの河川でやるか悩むところ。

知人からのお勧めとオトリ店のひと押しでこの河川に決定。

何時もの河川は前日までの雨で石に泥が被り食み痕が見えない。オトリをもらう時に入れ違いになった人にグレイヘアさんだとオトリ店の方が教えてくれた。数年前にも紹介して頂いたと思うけど……。記憶力が……

すみませんでした。券とオトリを買いひと山越えて目的地へ。昨年行った場所へ行く。

釣り人は多くなく遠すぎて人がいるか確認するのが困難なくらいの距離感。

あとは掛かるかが、まずは瀬肩の波立ちへ。オトリが波の撚れに入ってしまったらキラリと野鮎が腹を返す。掛かるペースが遅く普通tの瀬ではあまり掛からず。戦略を少し変え流れの緩やかなポイントへ泳がせると掛かるペースが上がってきた。今回のキーポイントはトロの様な岸よりの場所で石の色の良い所の周辺。

当たりも強烈で方も18cm前後と申し分無い。予想外の釣果に満足。同行者もそれなりに満足の様子。オトリ店前の水路にオトリを浸けて置こうと思っていたが移動途中酸欠で死んでしまう可能性が高いので川に浸けて置くことにした。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.022

釣行月日: 2016年08月19日(金) 08:45~17:10

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: *****

水況: 濁り無し

釣果: 61尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

遠征2日目, 今回も同じ場所。昨日とはポイントを若干変えてやってみる。どうもトロのほうが勝負が速い感じ。

昼過ぎには昨日やっていない瀬でやってみる。両岸よりのほうが良く掛かる。

1時間10尾程の掛かりで今日もそれなりに楽しめた。知人のひとりとは今日でお別れ。明日は2人での遠征最終日。



No.023

釣行月日: 2016年08月20日(土) 08:30~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: *****

水況: 濁り無し

釣果: 90尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

遠征3日目, 本日はオトリだけを生かして残りは氷でしめて別河川でも行ってみよう昨日の場所行ってみると川が濁っていた。オトリ缶が流されてないだろうかと不安。着替え行ってみると無事だったが3~4割死んでいた。

選別してオトリ店に行ってみる。別河川では濁りは無いので最終日今年初めてこの河川で昨年良かったポイントへ行ってみる。前情報では今年は良くないとのこと。橋から石の状態を確認すると良くも無く悪くもなさそう。やってみるしかないと思う。ポイントへ行ってみると昨年と比べるとあまり石の艶が無い様な? しかし、心配は無用だった。浅場では思った以上に掛かる。しかし、上流でやっている同行者のほうが掛かるペースが良い。

掛かっても蹴られバレが多発。ペースが上がらず数も伸び悩む。

午前中30数尾。下流へ場所移動。浅場のチャラ瀬で思わぬ入れ掛かり。強烈な当たり掛かってからの引きはすごい。

ここでも蹴られやバレで数が伸びない。針のタイプや針ハリスの長さも変えてもこれといった効果が得られず。

それでも90尾まで掛かるとは夢にも思わなかった。

トラブルが無ければ三桁になったかもしれない。次回行けたらこの対策を考えねば。同行者は36尾。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.024

釣行月日: 2016年08月28日(日) 06:45~17:40

天気: 雨時々晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 70尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): 巧匠アルトマイスター?早瀬抜95

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

放流のみの河川は網入れもあり友釣りが厳しくなってきた。これからは天然遡上河川が対象になる。今週は1日だけとなるので年券のある熊野川に。8月頃から掛かり出しお彼岸頃までは最盛期が続くので楽しみ。

谷口オトリ店に行ってみると昨日は釣り人が多かったらしい。今日も多いのかな。7時前とあってまだ釣り人が見あたらない。前回の釣行時より水位が10cm程高い。これは釣りやすい。一発目は小さくオトリにはちょっと厳しいかなと思うようなサイズ。安曇川では十分使えるサイズ。これで次にヘチで掛かったのはもっと小さい。これは使えない。その次は少しましなサイズ。その後は循環できるようになってきて1時間8尾ペース。しかし釣り場が広いので何処で掛かるのか探りながらポイントを変えてみた。大体傾向が見えてきてトロ場で川底がフラットの所か?掘れこんだ深場は厳しかった。掛かる鮎のサイズは良く黄色い。当たりは良く引きも良く最高。

掛かった鮎が曳舟に一杯になってきた。オトリ缶を浸けてある場所でやってる人がいるので行こうにも行けず。53尾になりもうこれ以上はと思っていたところようやく場所移動してくれた。曳舟の鮎をオトリ缶に移せて身軽になった。

釣り人は数人程度で午後4時には貸切状態。しかしちょっと寂しく感じた。

70尾までとやってたら5時半を過ぎてしまった。

日の暮れが早くなってきたものだ。台風10号の影響による雨が多くなければと。



No.025

釣行月日: 2016年09月04日(日) 08:15~17:30

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: *****

水況: 濁無し

釣果: 55尾, サイズ: 13cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

倶楽部の2人と遠征に出かける。当初計画していた時は釣果も期待できると考えていた。

しかし、台風の影響による大雨で苔は流れ99パーセント苔無の白川状態。色は溪流の様な色で青っぽい。

グレイヘアさんらもオトリ店に来られておりちよっぴりお話ししてから出かける。

何時もの場所行ってみて何処で掛かるか探りの状態。流れのある浅場が良いのかと思いやってみる。心配することなくそれなりに掛かった。鮎もちよっぴり痩せているが白くなくまだ若い。当たりや引きも前回の釣行時と変わらず。

ただ小石底やトロではまだ厳しいようだ。苔が飛んでいるのでという先入観は持たずにやったほうが良いみたい。

あと3, 4日照り込みがあれば最高かもしれない。

これから産卵に備え苔を食まねばならないし、新苔が付けば追いがさらに活発になるだろうと推測。

この状況で50尾強とまずまずの釣果。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.026

釣行月日: 2016年09月05日(月) 07:30~14:30

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: *****

水況: 濁無し

釣果: 50尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

朝起きてホテルから川を覗いたら昨夜の雨で濁っている。

しかし、昨日やった川はほんのわずかの濁りがある程度で全く問題ない。昨日やっていない橋の上流側を攻めてみる。オトリの選別がまず泳ぎが悪く場所を変えていくもオトリが変わったのは30分後。どうも石の色をみると苔飛びの先入観がありポイントを見逃しそうになる。黄色や茶色の石が集中するところを重点的に攻めてみた。

今日も天気が良く暑いくらい。水温も上がってきて昨日よりも石が黄色になってきたような感じを受ける。

10時頃で15尾。やはり昨日やった辺りの石の色が気になり行ってみる。

チャラ瀬で1時間15尾の入れ掛かり。さらに下流へ行ってみたが思った程掛からず。

午後から雨の予報もあり、2時半頃までやって50尾となったところで納竿。

新垢が付いた頃にも行ってみたくなかったが予定が取れるかが・・・来月からは禁漁。



No.027

釣行月日: 2016年09月10日(土) 07:15~15:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 四村川(和歌山県)

水況: 濁り無し

釣果: 52尾, サイズ: 12cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

熊野川(十津川水系)本流がダムからの放流が続き未だ濁りが出続けている。何時まで出すのか?行く途中ダムをみると殆ど底を尽きそうな程になっているにも関わらず放流とは…。まあこの前の大雨の際に泥出ししているのだろう。それにしても長期に渡る濁りは下流にとっては…。今日は民宿大村屋の主催する鮎釣り大会。16時までには民宿に戻ることにしている。本流は竿出しできず支流での釣りとなる。いつもの四村川へ行ってみる。釣り場で釣り客が瀬でやるとのことで自分はおよそ300m上流へ行ってみる。仕掛けをセットしようとしてたらタモが無い。忘れてきたのだ。また車まで戻らないといけな。考えるだけで疲れが、こういう日に限って…時間のロス。いつものチャラ瀬が水が増えた為条件としては良いように感じた。オトリを放ち数メール行った所でウロウロしてる間に掛かる。そこから嘘のように入れ掛かる。1時間10尾を超える程。前後ポイントを変えながら昼前には30尾程。少し下って深トロで10尾弱追加。もう少し下ってやってたら先程の方が来られ場所移動されるとの事。28尾程掛けたいらしい。

ヘチを狙って3時頃までやって50尾強。

まさか優勝とは。まあ、きっとポイントと若干の高水で条件が良かったのだろう。



2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]

No.028

釣行月日: 2016年09月11日(日) 07:40~17:10

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 四村川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 41尾, サイズ: 11cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今度は下流のポイントへ行ってみる。先行者が瀬肩でやろうとしているところ。自分はその瀬の20~30m下流の平場でやる。最初3尾程度掛かるもエラ掛かりでオトリの循環が悪くなり続行が厳しくなってきたので下流に釣り下ったが1尾だけしか掛からず。やはり昨日はたまたま良かっただけ。この場所は諦め昨日の所へ行ってみる。今度はさらに倍の距離まで歩いてみる。そこにたどり着いたのは10時頃。しかし掛かったのは2尾、さらに下流へ移動しながらやって良いところは10尾くらい掛かる。数か所でやりながら昨日のポイントまで来た。しかし数尾しか掛からず。深トロで10尾程掛かる。最後は下の瀬まで位ながらやる。やはりヘチで掛かる。途中、掛かって上流に走った時に水中に沈んでいた木の枝がありその下を潜ってどうしようもなく切れる。2尾が枝に引っかかっていたので取り込もうと行ってみてたがうまいこと逃げられた。掛かり鮎オトリより大きかった。

帰り本流の流れを見るとちょっと緑がかっているように感じる。もしかしたらダムの放流が止まったか?



No.029

釣行月日: 2016年10月01日(土) 09:00~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 古座川 (和歌山県)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 51尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

ここのところ雨続きで何処も釣り辛い状況。何処に行くのか前日まで予定が立てられない。土日晴れの予報で期待して出かけようとしたが次々悪い予報へと変わってる。最近では悪い方向になるのが普通になってきた。天気予報では日曜日のほうが良さそうなのでもしかしたら風伝おろし・丸山千枚田で雲海が期待出るかもとR169ルートでR42経由で下見をしようど通過してみた。寄り道をしたので古座川まではちょっと時間がかかるかな? 丸山千枚田を通過し北山川の竹筒まで来ると宮井までは道も良くなり快適に走れる。相変わらず十津川水系は濁りを出し続け北山川水系は濁りのない状態、宮井出会いから下は濁り状態。赤木川との合流の熊野川本流で餌釣りで釣り人で賑わっていた。

南へ下ってR42に合流し古座川を目指す。無料の自動車道ができてかなりの時間短縮、宮井大橋からでも1時間20分程。福ちゃんオトリ店でオトリを調達。なんと倶楽部のでんたさんからも来られていた。立会へ入川とのこと。自分は洞尾へ入川。既に2人が瀬肩とその上に入っていた。やりたいと思っていたけど...、その下のチャラの瀬が広く空いていたのでそこに入ることにした。川の真ん中は白そうだったので手前か向こう岸のヘチのどちらかである。水も高いし立ちこむのはきつそうだしやはり楽な手前の浅場狙い。開始後すぐにオトリを変えられ順調に掛かる。殆どが黄色い鮎。しかし全体的に16cm前後と小ぶり、塩焼きには最適なサイズ。

昼までに25尾。今の時期にしては暑すぎて倒れそうなほど。コーヒーでも飲んで休憩。

上の釣り人が居るのでまた同じ所を行ったり来たりしながらやる。掛かるペースもそんなに良くなく時間を過ごす。

3時頃に釣り人の空スペースの間隔が広がったのでその間に入る。トロ場であるが掛かる雰囲気。

1尾掛かればその上流の淵の駆け上がりに行けば掛かる。その周辺で10尾ほど入れ掛かる。

上流にいた釣り人はきつい瀬に胸まで使って岸際を狙っているのか? 自分には到底無理。5時まで粘って50尾強。

明日は熊野の予定もあり川湯温泉の大村屋で泊まる。夕食時に会った人の話で吉野で尺が出たという。掛けられた本人も居られた。その人らは北山に入ったが思った程掛からなかったらしい。明日は北山川と思っていたが大村屋のヒロ君が前の大塔川で追っている鮎も見られるとのことで温泉前でやってみることに決定。

2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]



No. 030

釣行月日: 2016年10月02日(日) 07:40~15:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 大塔川 (和歌山県)

水況: 若干高水, 濁無し

釣果: 63尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 閃: 5.5号4本錨

内容:

7時から朝食なので開始は40分。まずは宿の前の右岸側から。期待したほど掛からず5尾程。

本命の100m程下流の亀屋周辺。ここで掛からなかったら場所移動。ただ、そのあと何処に入るかは考えていない。

まずは右岸側を攻める。やはり掛かる。川の真ん中では白っぽいので手前か向こう岸。左岸側の下では川を掘ってお湯に浸かってるのかビニ姿に目がいってしまう。気が散ってしまうが右岸側を攻めきったこともあり左岸に渡り左岸側を攻める。この左岸側が一番掛かった。浅場のヘチをやるのは精神的に疲れるし、2時過ぎまでやって60尾近くになってきたところで上流の深場を攻めて黄色い鮎を3尾程掛けたところで納竿。台風の影響次第で今度どうなるか?



No. 031

釣行月日: 2016年10月09日(日) 12:00~15:00

天気: 雨後曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 古座川 (和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 12尾, サイズ: 13cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨

内容:

今日は有田若鮎倶楽部のオフ会延期の日だったが、前から中止が決定し懇親会を行う予定。しかし何処かで釣りが出来るなら釣りをしてから夜懇親会ならもっと楽しいだろうと他のひとともそう思ったに違いないだろう。前日の有田川の状態なら行けると思い早朝に出かける。朝から雨でそれも強い。到着してみると雨は小雨だったが見ごりが出て。中ちゃん一向も到着するも急遽戻らなければならないことになり同行されてたUさんとお土産を置いて行ってしまった。夜まで有田にいても退屈なのでその時点では日置川で竿が出せそうなので行ってみる。途中富田川は赤濁り。嫌な予感。森のおやどまで来ると釣りびとの車がずらりと並んでいた。川を見ると濁りが出て釣りができる状態でない。下流へ向かい口ヶ谷より下流は濁りがまだまし。最下流ではスイスイ。これからは濁って来るんだろう。日置川から高速に乗りすさみまで行き古座川へ。ここでは雨の影響は殆どなく濁りもない。昼頃から本流で竿を出すことができた。まあ今日は釣りが出来るだけで幸せといった感じ。寒くもなく風もなく3時までしかできないので一カ所での釣りになりそう。2カ所回っても釣りびとが入って自分等3人が入れそうな場所がなく3カ所めの天柱岩前では何とか入れそうなのでここに決定。思った所では中々掛からず苦労した。岸よりとへちで何とか掛かってくれた。Sさん2尾、Uさん14尾。ボウズハゼの猛襲に難儀していた。

2016年版 [釣行回数: 32回 平均釣果: 42.4尾 総釣果: 1,356尾 1日最高釣果: 90尾 最長寸: 26cm]



No.032

釣行月日: 2016年10月10日(月) 10:00~16:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 小川(和歌山県)

水況: 濁無し

釣果: 42尾, サイズ: 13cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本鉤, 一角: 7号4本鉤, キメラ: 6.5号4本鉤

内容:

前日の懇親会で教えて頂いたポイントへ行く。有田から2時間弱。今日も3人でポイントへ入る。先行者一人のようで見渡す限り見当たらない。オトリ缶はあるんだけど。今日は一人オトリ1尾で開始。誰か掛かるだろうと安易な考え。全体的にポイントは広く何処を攻めるか迷うところ。瀬よりは波立ちの少ない平場で川底に変化の有るところを狙う。意外とやられてないポイントで時期的にも掛かりやすいと自分がそう思ってるだけなのだがこもそれが当てはまるかどうか。その変化とは掘れ込み, 馬の背, 大きめの石が点在, 薄黄色の石が集中している場所, 茶褐色の場所等少しでも変化の所を見つけてオトリを泳がせる。泳がせるにもオバセの強弱をつけ泳ぐスピードも変化をつけてやると効果的。

川を3等分し真ん中を外し残りの手前の岸側か向こう岸側を狙うほうが良いのかなあ。

午前中はやり方も荒かったのか8尾と良くない。場所移動しても今日は釣りびとが多く入る場所もそう簡単では無いかもしれない。先行者の方は上流へいたのか下ってこられ昼頃には居なくなってしまった。

昼に一旦川を上がり堤防から眺めると岸よりでは掛かる様に思うんだけどなあ。魚影が薄いのか?

再度じっくり攻めてみることにした。水温も上がったこともあるのか掛かる様になってきた。釣り方をちょっと変えてみた。自分が川岸から川原方向へ数m下がって釣りびとが立つ所を泳がせた。午前中とは比べられない程のペースで掛かった。ただ川原と川岸とを行ったり来たりで疲れる。対岸のUさんも対岸の岸側を上飛ばしで掛けていた。

4時頃までやってUさん37尾, Sさん10尾。今日もボウズハゼに邪魔された。



2016年版 [釣行回数 : 32回 平均釣果 : 42.4尾 総釣果 : 1,356尾 1日最高釣果 : 90尾 最長寸 : 26cm]